

時間	状況	災害状況	事象（水道）	事象（下水）
4:00		・大雨（浸水害）・ 洪水注意報		□各ポンプ場配置済み □楠葉地区へ土のう100袋配布をはじめ、総数150袋を配布済み □各水路のスクリーン状況の確認
6:00	・緊急出動班招集（2B）	・大雨（新市街）・ 洪水警報		
7:00	・情報収集体制			□下水道施設維持課より赤岩室長へ各ポンプ場及び各水路のスクリーン状況の報告
8:00		・土砂災害発生 （穂谷）	□土砂災害について危機管理室より情報提供あり、マッピングシステムにて埋設管確認。 ※緊急出動班でマッピングシステム操作（埋設管の確認）を対応。 ①土砂災害地域周辺の管路を確認。 ②浄水課操作室へ配水池流出量の変化を確認してもらったところ、流出水量に変化がないので土砂災害の影響での水道管の破損はないと断定。	□水みらいセンターより報告を受け、北部貯留槽・香里貯留槽へ受入要請を指示
9:00	・局の災害対策本部設置 ※緊急出動班から移行	・大雨（土砂災害警戒情報）・洪水警報	□土砂災害（穂谷）について、 <u>水道管には影響なしと判断（上記①②で判断する。）</u> □局の警戒本部設置	
10:00				
10:30～10：50		・土砂災害発生 （岡南町）	□市民及び危機管理室からの状況付与（枚方市岡南町にて急傾斜地でのがけ崩れ発生） ※近くで大きな音がした後、家の水が出ないのですぐ来てほしい。 ①住所、氏名、連絡先の確認後、マッピングシステムで水道管路を確認。 ②水道協議班にて調査方法（元栓の不具合、水道本管の破損など）を検討。 ③給水活動が必要となった場合の検討。  □【水道局と土木部との情報連携】 ※土木部職員の現地への出動状況、道路状況、土砂崩れの範囲などを聞く ※大雨、土砂災害の中でどのように対応させるか。（現地状況を把握するため土木部と連携して調査班と情報を共有する。他部署の対応内容、車両通行止め、2次災害の予測、通報者の避難状況等） ※断水の原因を確認するため、どのような調査ができるか。引込管、水道本管の調査をどうするか ※2次災害で調査に危険が及ばないか把握しておく。（土木部、調査班との連絡を取り指示する。）	□各ポンプ場より下水道協議班へ報告を受ける。

時間	状況	災害状況	事象（水道）	事象（下水）
10:50	・局内会議		<div>□第 1 回対策本部会議に報告する内容</div> <div>①ポンプ場への職員配置状況、各水路のスクリーンの確認状況、土のう要請への対応状況等</div> <div>②穂谷地区で発生した土砂災害に伴う水道管への影響はなし。（浄水課配水量の変化なし）</div> <div>③岡南町で発生した土砂災害近辺の 1 戸から水が出ないとの通報があったので、水道協議班と土木部とで情報共有しながら、水道修繕部の現場への出動について検討中。</div> <div>④給水活動については、給水車などの出動の準備はする。</div>	
11:00～11：30	・第 1 回対策本部会議		<div>□水道工事事部（復旧統括班）にて、土木部と土砂災害状況を確認。</div> <div>□土木部と情報共有した結果、水道補修部（復旧修繕班）へ土砂災害発生（岡南町）地区に出動するよう指示。</div> <div>□水道補修部（復旧修繕班）から現場へ到着した旨の報告を受ける。</div> <div>□現場の水道補修部（復旧修繕班）と情報共有を行う。</div> <div>□水道補修部（復旧修繕班）へ水が出ない家を訪問し漏水確認するよう指示。</div> <div>□2 戸からの水が出ないとの連絡が入る。</div>	
			<div>□水道補修部（復旧修繕班）より本管での漏水音調査は土砂と大雨の影響により不可能との報告を受ける。</div> <div>□水道工事事部（復旧統括班）にてマッピングシステムによる埋設管の種類の確認。</div> <div>□水道工事事部（復旧統括班）にて埋設管の種類の確認完了。結果を報告する。（原因を考える。）</div>	
			<div>ヒント</div> <div>①断水箇所の確認。</div> <div>※本管であれば他の家からも通報がある。3 戸なので引込管漏水を疑う。引込管が漏れやすい管種かどうか確認する。</div> <div>②土砂災害による埋設管の確認。</div> <div>※災害現場が大規模（道路や家屋が崩れている）であれば、本管の破損も考える。</div> <div>※浄水課操作室へ配水池流出量の変化を確認してもらったところ、流出水量に変化がないので土砂災害の影響での水道管の破損はないと断定。</div> <div>③水濁りの確認。</div> <div>※本管の破損であれば、水濁り情報も入っている。</div> <div>④近辺住宅の給水管の材質の確認。</div> <div>※①と同じ</div>	
			<div>検討事項【協議班と水道補修部（復旧修繕班）とのやり取り】</div> <div>⑤漏水箇所を特定するにはどうするか。</div> <div>※「水がでない」の通報が入った時点で確認しているが、断水範囲を拡大するため再確認し、併せて水濁り範囲をシステムで解析しておく。（水道工事事部（調査排水班）の準備、何人、何班、どの地域でどの範囲か）</div> <div>※大雨、土砂災害を考えると特定は困難である。一部の本管を止めてみて漏水音の違いで確認する。</div> <div>⑥大雨、土砂災害の中、漏水修繕をするのか。</div> <div>※⑤と同様に危険を伴うので土木部と連携を図りながら漏水箇所及び修繕方法を検討する。</div> <div>⑦そのままにしておくか、周辺の管路を止めて漏水箇所を特定するか。</div>	

時間	状況	災害状況	事象（水道）	事象（下水）
			⑧止めた場合の水濁りの影響はどの程度か ⑨影響範囲に対応する水道工事部（調査排水班）の体制をどうするか。 ⑩断水箇所への広報はどうか。 連携【協議班と土木部とのやり取り】 ⑪断水する場合、戸数、給水方法、現場状況について、対応職員と情報共有。 ⑫土木部等に連絡して水道の被害状況、対応状況を共有する。	

時間	状況	災害状況	事象（水道）	事象（下水）
11:40			<div>□漏水原因を検討した結果、土砂災害により本管からVP管で接続している3戸で漏水していることが判明。</div> <div>□漏水による2次災害を防ぐため、水道工事事部にてマッピングシステムによる仕切弁①②の2か所を閉めた時の影響の解析を行う。水道補修部（復旧修繕班）へは仕切弁閉止のため現場で待機するよう指示。併せて、周辺の病院状況等の確認</div> <div>□危機管理担当から危機事象が発生したことを大阪府健康医療部、警察・消防、その他関係機関へ通報を行うよう指示</div>	
11:50			<div>□マッピングシステムの解析結果、水濁りの影響が少ないので、水道補修部（復旧修繕班）へ仕切弁①②の2か所の操作は可能か確認するよう指示。なお、周辺の病院状況等については、問題はないことは判明。</div> <div>□水道補修部（復旧修繕班）より仕切弁②の操作は難しいとの報告を受ける。</div> <div>※当初、検討した仕切弁①②の2か所を閉めると21戸の断水であるが、災害現場対応車両・土砂などがあり仕切弁②が確認できないため、手前の①③④の3箇所で閉止することとなり、断水範囲は42戸となる。</div> <div>□水道工事事部（復旧統括班）にて再度マッピングシステム解析の実施。周辺の病院状況等も再確認。</div> <div>※現場状況がわかったことによる再解析及び断水範囲が広がるため周辺病院等の影響範囲の再確認。</div> <div>□危機管理室に避難していない世帯を確認及び穂谷地区で発生した土砂災害の状況確認。</div> <div>※危機管理室からの情報を基に水道協議班にて給水車の手配及び給水方法の再確認。</div> <div>※穂谷地区の土砂災害については変化なしとの回答を受ける。</div> <div>□給水活動が必要となった場合を検討。</div>	<div>□市民より土のう要請。</div>
				<div>□下水道施設維持課より赤岩室長へ各ポンプ場の状況の報告</div>
12：00～13：00			お昼休憩	
13:05	・局内本部会議		<div>□局の本部に報告する内容</div> <div>①ポンプ場への職員配置状況、各水路のスクリーンの確認状況、土のう要請への対応状況等</div> <div>②穂谷地区の土砂災害に伴う水道管への影響はなし。</div> <div>③岡南町で発生した土砂災害により3軒で断水しているため、今後の対応を検討中。</div> <div>断水して確認（対応）する場合42戸の可能性があります。水濁りについてはシステムで解析中です。給水活動に備え、引き続き給水車等の出動準備は行っている。</div>	

時間	状況	災害状況	事象（水道）	事象（下水）
13:15～13:35	・ 第2回対策本部会議	・ 土砂災害発生（岡山手町）	<div>□危機管理より岡南町地区で発生した土砂災害に伴う避難をしていない世帯の報告を受ける。</div> <div>□水道工事部（復旧統括班）にて再度マッピングシステム解析完了。仕切弁①③④の3か所を閉めた時の影響が判明。周辺の病院状況等は問題なし。</div> <div>□水道補修部（復旧修繕班）へ仕切弁①③④の3か所の操作は可能か確認するよう指示。</div> <div>□給水部にて給水計画の素案の策定、本部にて給水計画を決定。</div> <div>※大雨のため給水車の所に取りに出来ない可能性があるので、給水袋・ポリタンクで断水世帯（土砂災害に関係のない地区）に配布することを検討（給水対応人員、車両手配など）</div> <div>※断水範囲が広がったことにより、水にごりが発生する可能性に備えて給水車の出動及び出動先を検討。</div> <div>※通行止めなど道路規制を考え、どのルートで進入するかなどを検討。</div> <div>□岡山手町で発生した土砂災害地区の市民より通報あり、マッピングシステムにて埋設管確認。</div> <div>※岡南町の水道補修部（復旧修繕班）を向かわせるか、別班を現場へ向かわせるか検討。</div> <div>□土木部と連携し、現地（岡山手町）の状況を確認。</div> <div>□広報車を走らせるよう指示。また、HP及びLINEでも断水情報の発信。</div> <div>※断水範囲には口頭又はマイク広報とし、水濁りを伴う地域には広報車を手配する。</div> <div>□防災行政無線による広報を危機管理室へ依頼する。</div>	□ロガーを確認する
13:35		・ 土砂災害発生（岡山手町）	<div>□岡南町への給水計画に基づき、給水部へ軽トラックの荷台に給水タンク（10ℓ）・給水袋（6ℓ）を載せて、断水世帯への配布及び水にごりが発生する可能性に備えて給水車の出動するように指示。</div> <div>※仕切弁①②の2箇所から仕切弁①③④の3箇所の閉止による断水範囲の変更に対応する。</div> <div>□（岡南町）水道補修部（復旧修繕班）から仕切弁①③④を閉めることが可能との報告を受ける。</div> <div>※仕切弁①③④を閉止することにより漏水音（漏水箇所）が消えたため、災害区域内で漏水していることが判明した。</div>	
13:45			<div>□水道補修部（復旧修繕班）から土砂災害（岡山手町）について、影響なしとの報告を受ける。</div> <div>□（岡山手町）水道補修部（復旧修繕班）へ帰還するよう指示。</div> <div>□（岡南町）水道補修部（復旧修繕班）へ仕切弁①③④を閉め、その後、帰還するよう指示。</div> <div>※断水で対応したため、これ以上現場チームにできないことがないため。</div> <div>□給水活動のための軽トラック及び給水車が現地到着</div>	

時間	状況	災害状況	事象（水道）	事象（下水）
13:55～14：25			<div><div>□土木部と連携し、現地（岡山手町）の状況を確認。</div><div>□土木部との調整の結果、水道補修部（復旧修繕班）へ現場（岡山手町）へ行くよう指示。</div><div>□給水活動中の給水部より災害現場対応車両が移動しているので、仕切弁②の操作が出来るのではないかと連絡が入る。</div><div>□水道補修部（復旧修繕班）及び水道工事事部（調査排水班）に再度、岡南町の現場へ向かうよう指示。</div><div>・洗管作業日数</div><div>※断水箇所を減少（42戸から21戸へ）させたときに水道工事事部（調査排水班）による排水作業開始。</div><div>※漏水箇所が復旧すれば、漏水修繕後の排水作業も同様に考えておく。</div><div>□水道補修部（復旧修繕班）及び水道工事事部（調査排水班）から水道工事事部へ現地に到着したとの連絡が入る。</div><div>□水道補修部（復旧修繕班）へ仕切弁②の操作は可能か確認するよう指示。</div><div>□今後の修繕工事の計画を検討</div></div>	<div>□下水道施設維持課より赤岩室長へ各ポンプ場及び各水路のスクリーン状況の報告</div>
14:25			<div><div>□水道補修部（復旧修繕班）から仕切弁②を閉めることが可能との報告を受ける。</div><div>□水道補修部（復旧修繕班）へ仕切弁②を閉めるとともに、仕切弁③④を開けるよう指示。</div><div>※仕切弁の操作箇所を変更したことにより、断水エリア（42戸→21戸）を縮小。</div><div>※周辺で水にゴリが発生する可能性があるため、待機中の給水車へ仕切弁の切り替え作業を行ったことを知らせる。</div><div>□水道工事事部（調査排水班）へ仕切弁③④を開けた箇所の洗管作業を行うよう指示</div></div>	

時間	状況	災害状況	事象（水道）	事象（下水）
14:30	・局内本部会議		□局の本部に報告する内容 ①ポンプ場への職員配置状況、各水路のスクリーンの確認状況。 ②現場確認にて岡山手町で発生した土砂災害については、影響なし。 【岡南町で発生した土砂災害について】 ・2次災害の防止のため、本管を断水させた。 ・仕切弁の操作箇所を変更したことにより、断水エリア（42戸→21戸）が縮小。通水に向け、洗管作業を行う。 ・給水活動については、軽トラックの荷台に給水タンク（10ℓ）・給水袋（6ℓ）を載せて、断水世帯へ配布。また、水にごりの発生に備え、給水車を待機させている。 ・今後の復旧作業については、土木部と連携しながら行っていく。 ※大雨で天候が回復するまで点検作業や掘削作業が出来ない。	
14:40～15：10	・第3回対策本部会議		□今後の修繕工事の計画を検討	
15:20	・状況終了			
15:30				
15:40	・講評等			
15:50				
16:00	撤収			